

第2巻目次

刊行の趣旨 編者一同

第1巻目次

第1部 法治主義と行政の組織・作用

- 1 法治主義と行政の統制 柴田 克史 3
 - I はじめに 3
 - II 行政過程 6
 - III 「統制」とは何か? —その概念と機能をめぐる議論 7
 - IV 行政過程の統制—理論的分析 10
 - V おわりに 14

- 2 法治主義と公共法曹 南川 和宣 16
 - I 法治主義をめぐる対話の担い手としての公共法曹 16
 - II 地方公共団体における法治主義的なマインドの必要性 17
 - III 地方公共団体の活動行為形式の観点から見た法治主義にかかる問題点 19
 - IV 公共法曹が果たす役割 25
 - V 公共法曹の養成にかかる法科大学院の役割 26
 - VI 公共法曹の普及に向けての課題 27

- 3 法治主義と政策法務 藤島 光雄 29
 - I 政策法務とは何か 29
 - II 政策法務の取り組み 31
 - III 現状と課題 40

4	法治主義と行政による規範定立	宮村 教平	42
	Ⅰ はじめに		42
	Ⅱ 行政による規範定立の把握のための視点設定		45
	Ⅲ 日本における行政による規範定立の把握について		50
	Ⅳ むすびにかえて		52
5	法治主義と行政行為	岡田 雅夫	53
	Ⅰ はじめに——行政行為概念の問題点		54
	Ⅱ 日本国憲法の法治主義と行政法の構造		57
	Ⅲ 法律の留保論の問題点		60
	Ⅳ 「公定力」の正体		61
	Ⅴ おわりに		64
6	法治主義と行政契約	佐藤 英世	66
	Ⅰ 行政契約の意義と特色		66
	Ⅱ 行政契約と基本原則		69
	Ⅲ 行政契約と法的規制		72
	Ⅳ 行政契約と救済		77
	Ⅴ むすびにかえて		80
7	法治主義と行政指導	松戸 浩	82
	Ⅰ 行政指導に対する法的規制（その1）——法律の根拠		82
	Ⅱ 行政指導に対する法的規制（その2）——法律の規制		92
	Ⅲ 結び		94
8	法治主義と行政調査	野一色 直人	95
	Ⅰ 行政調査の定義		95
	Ⅱ 行政調査の分類と法的根拠との関係等		96
	Ⅲ 行政調査と救済手続との関係		105
	Ⅳ 行政調査をめぐる近時の課題		106

- 9 法治主義と強制** 森口 佳樹 108
 ——法治主義の観点からの一考察
- I はじめに 108
- II 新型コロナウイルス対策の法体系の管見と法的強制 110
- III 東京都営業時間短縮命令事件 112
- IV 徳島県店名公表事件 116
- V 結語 119
- 10 普遍化的法治主義の国際秩序における理論展開**
 福島 涼史 120
- I はじめに 120
- II 法なければ国家なし 121
- III 実質的公法一元論 124
- IV おわりに 129

第2部 法治主義と行政をめぐる裁判

- 11 法治主義と行政の司法的統制** 井上 典之 133
- I はじめに 133
- II 大日本帝国憲法下での行政裁判制度 135
- III 日本国憲法下での行政事件訴訟 139
- IV まとめ 144
- 12 法治主義と主観訴訟・客観訴訟** 山岸 敬子 147
- I はじめに 147
- II 行政の法律適合性の統制と客観訴訟 148
- III 主観訴訟と行政法の主観化 151
- IV おわりに——客観争訟としての行政不服審査制度 156
- 13 法治主義と行政訴訟の方法(態様)**..... 長谷川 佳彦 159
- I 行政訴訟の方法(態様)に対する法治主義の要請 159

II	行政訴訟の方法(態様)に対する法治主義の要請の限界	164
III	行政訴訟の方法(態様)に関する法律の役割	167
14	法治主義と行政訴訟へのアクセス ……………大久保 規子	172
I	法治主義と司法アクセスの拡大	172
II	原告適格の拡大と公益訴訟の広がり	174
III	公益訴訟の仕組みと運用——インドとポルトガルの例	177
IV	日本の課題と展望	181
15	法治主義と住民訴訟 ……………寺田 友子	184
I	はじめに	184
II	住民訴訟制度の概要	185
III	対象事項にかかる違法事由	189
IV	おわりに	197
16	法治主義と国家賠償 ……………岡田 正則	198
	——日本国憲法下における国家無答責	
I	はじめに——国家補償の普遍的近代化と現代化	198
II	法治主義と大日本帝国憲法下の国家賠償制度 ——国家無答責の法理と国の不法行為責任	200
III	法治主義と日本国憲法17条・国家賠償法	202
IV	日本国憲法の下で国家無答責の法理を適用することは許されるか	205
V	国賠法6条をめぐる問題	210
VI	おわりに	211
17	法治主義と損失補償 ……………野呂 充	213
I	損失補償の概念と特質	213
II	補償規定のない法律に基づく財産権侵害に対する救済の方法	214
III	損失補償の要否の基準	215
IV	損失補償の内容	220
V	国家補償の谷間——予防接種被害の救済を中心に	224

第3部 法治主義と具体化領域

- 18 法治主義と警察法** 荒木 修 229
- I 初めに 229
 - II 法律の留保（法律による授権） 230
 - III 警察権の限界 236
- 19 生活扶助基準設定・改定（引下げ）における論証の構造と司法審査** 太田 匡彦 248
- I 問題の所在 248
 - II 生活保護法における生活扶助基準設定の論理 249
 - III 生活扶助基準引下げに対する司法審査における判断過程審査 254
- 20 法治主義とAI** 片桐 直人 261
- I はじめに 261
 - II AIとそのリスク 262
 - III 行政機関におけるAI利用 266
 - IV AIを利用した行政活動と法 271
 - V AIを利用した行政への対応の推進力をどのように引き出すか 274
 - IV むすびにかえて 279
- 21 法治主義と環境保護** 浅川 千尋 281
- とくに日独の議論を素材にして
- I はじめに 281
 - II 人権保障と環境権・国家目標としての環境保護 284
 - III 日本での議論 288
 - IV むすびにかえて——今後の課題と環境憲法学について 292

22 法治主義と動物保護・害獣駆除 青田 テル子 294

- I はじめに 294
- II 狩猟規則から鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律へ 295
- III 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律 297
- IV 鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律 302
- V 結びに代えて 305

23 法治主義と災害 磯村 篤範 307

- I 対象とする災害の確定及び防災行政の対象とする段階について 307
- II 治水行政の基本的考え方の変化——「防災」から「防災・減災」へ 309
- III 流域治水制度の基本枠組とその特性 313
- IV おわりに 災害を如何にみようとするのか 318

24 法治主義と税財政 谷口 勢津夫 321

- I はじめに 321
- II 租税法律主義の意義とその厳格化 323
- III 司法的救済保障原則の意義と展開 327
- IV おわりに 332

あながきに代えて～法治主義（法律による行政の原理）の現在地～
..... 高橋 明男 335

第1巻目次

第1部 法治主義と公法学・法学・社会科学

- 1 市場経済移行諸国の法治主義の類型、基盤および発展の可能性
——行政法の法整備支援からみた法治主義……………市橋 克哉
- 2 根本規範と「日本的法治」……………石川 健治
——実質的法治国原理の系譜について
- 3 法治主義と公法学者……………高田 篤
- 4 法治主義と法史学……………三成 賢次
- 5 法による支配：そのパラダイムの分析……………松浦 好治
- 6 法治主義と政治思想……………竹中 浩

第2部 法治主義と憲法・行政法の基礎理論

- 7 法治主義と民主主義……………毛利 透
- 8 行政機関による法律解釈と司法審査……………松井 茂記
——法治主義と行政の司法的コントロールの一局面
- 9 法治主義と規範の特定性／明確性……………小山 剛
- 10 法治主義と違憲審査……………松本 和彦
- 11 法治主義と平等……………高井 裕之
- 12 法治主義と「距離」……………山本 隆司
- 13 法治主義と「公法と私法」……………矢島 聖也
- 14 法治主義と公私協働・公私連携……………人見 剛
- 15 法治主義と給付……………村上 武則
- 16 法治主義と裁量……………高田 倫子
- 17 法治主義と地方自治——辺野古訴訟にあらわれた……………紙野 健二
- 18 法治主義とグローバル化……………原田 大樹